

令和6年度事務事業評価シート

令和6年11月28日

事業番号	6378	担当課等	美術館							
事務事業名	展覧会開催事業									
予算科目コード	会計	1	款	9	項	7	目	4	事業開始年度	平成10年度

1 事業概要(令和5年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021 プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	Ⅱ 文化芸術の振興・保存	7 文化芸術	(2) 町民文化芸術活動の支援	美術館の充実・活用				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○					
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	湯河原に残された文化遺産を後世に伝える役割を担いながら、観光客や町民が湯河原の魅力を感じられるよう、美術資料を活用した展覧会を企画する。また、生涯学習施設として作家展や講座などの充実に努めるとともに、学校と連携して児童生徒の教育支援を行う。								
対象	観光客、町民及び児童生徒								
内容	特別展として「対照の妙 牛田雞村展」及び「季節の彩り～湯河原の四季 湯河原句彩シリーズ」、平松礼二館企画展を3回開催した。また、湯河原近郊で活動するアーティストを紹介する現代作家展を開催した。								

2 実施結果

(単位 円)

コスト	区 分		令和4年度(決算)	令和5年度(決算)		令和6年度(見込)		
	事業費		3,818,016	4,635,790		4,801,000		
	人件費	常勤職員	8,638,384	8,100,288		8,196,098		
		会計年度任用職員等						
		人件費合計	8,638,384	8,100,288		8,196,098		
	総事業費		12,456,400	12,736,078		12,997,098		
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他特定財源					200,000		
	一般財源		12,456,400	12,736,078		12,797,098		
	財源合計		12,456,400	12,736,078		12,997,098		
活動指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
特別展			特別展開催件数		2回	2	2	1
平松礼二館企画展			企画展開催件数		4回	4	3	4
成果指標			指標設定の理由・考え方		単位	令和4年度	令和5年度	目標値
総入館者数			事業の成果		人	18712	19101	20000
						0	0	0

3 令和5年度までの事業分析及び改善点

評 価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	4	町営の美術館として、町民・観光客に優れた美術作品を公開し、芸術文化の向上に期するとともに、地域の活性化に寄与している。
効 率 性 類 似 性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	人件費、必要経費を勘案すると採算性は低いと言えるが、文化及び観光への貢献度は高いと考える。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	他館からの作品借用による特別展を開催することにより展覧会事業が充実し、集客につながっている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	美術館の活動を安価な入館料で広く一般に公開している。また、町民料金を設けることで町民にはより安価で利用できるようにしている。
令和5年度までの自己評価または改善点		展覧会を充実させることにより、入館者数が増になった。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	町所有の美術品及び借用品のため、直営が望ましいと考える。
令和6年度の見直し及び改善予定	特別展の開催や講演会などの事業を充実させるとともに、効果的な広報宣伝を行い、集客に努めたい。	
令和7年度以降の方向性	美術館の主要事業であるため、魅力的な展覧会を企画し、来館者の満足度に貢献したい。	

5 一次評価(令和7年度以降の方向性に対する評価)

総 合 評 価	継続(現状維持)	美術館の主要事業であるため、継続実施とする。
---------	----------	------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

収支バランスの不均衡を少しでも解消するために、今後も継続して収支の検討をする必要がある。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総 合 評 価	継続(現状維持)	収支バランスに考慮しながら継続実施を検討する必要がある。
---------	----------	------------------------------